



農業用資材などの 展示販売会を開催!



▲農機具の説明を受ける来場者

JAせとだアグリセンターは6月16、17日、農業用資材や生活関連品の展示販売会を開催しました。農機具展示会場では、JA職員やメーカー担当者が機械の性能や特徴を説明し、加工品特設コーナーでは、柑橘ジュースの試飲販売や瀬戸田産の柑橘を使ったばんずやジャムなどを販売しました。

また、6月14日からJAせとだ支店で地域住民の健康管理のため、「JA健康ふれあい館」を開設し、交流磁気治療器の無料体験に多くの方が訪れています。



親子で農業体験2023 「玉ねぎの収穫・田んぼの生き物調査」

三原市高坂町で6月10日、今年度2回目の「親子で農業体験2023」を開催しました。17組54人の親子が参加し、玉ねぎの収穫体験と田んぼの生き物調査を行いました。

作業や注意点の説明後、玉ねぎの収穫から始めました。参加者は沢山の玉ねぎを目の前に夢中で袋いっぱい収穫しました。その後、田んぼでカエルやオタマジャクシ、アメンボなどの生き物を網で採集しました。子どもたちは初めて見る生き物に興味津々。捕まえた生き物は、虫眼鏡で観察し、生き物図鑑で名前を調べました。珍



▲田んぼの生き物を採集する子どもと新入職員

しい生き物はみんなで見せ合いました。



三原市特産の桃 出荷スタート

6月28日、三原市深町特産の桃の出荷が始まりました。「深町落葉果樹生産組合」2戸が約60aで



▲丁寧に選果する為清会長

「日川白鳳」、「あかつき」、「なつおとめ」などを栽培し、8月上旬まで約1.5tの出荷を見込んでいます。

この日、出荷された「日川白鳳」は、果皮が赤色で酸味が少なく糖度が高いことが特徴です。例年より早い梅雨入りの影響で日照不足が心配されましたが、日が当たるよう新梢管理を徹底したため、果実品質は順調に仕上がりました。

同組合会長の為清隆美さん(72)は、「今年も良い桃に仕上がった。この時期にしか味わえない新鮮な桃を是非多くの方に味わってもらいたい」と話しました。



加工用ばれいしょの 出荷会議を行いました

三原市久井町の「久井町ばれいしょ部会」は6月16日、加工用ばれいしょの出荷会議を開き、生育状況や規格、出荷スケジュールなどを確認しました。

同部会は4法人で構成され、8月に限定販売されるポテトチップスの原料となる専用品種を栽培しています。昨年は雑草が繁茂し、一部成育が阻害されましたが、今年は雑草対策を強化する事で例年以上の品質に仕上がりました。

数量限定ポテトチップスは、中国四国地区のイズミ系列店舗や、やっさふれあい市場三原店・本郷



▲目合わせて品質を確認する生産者

店でも販売しますので是非ご賞味ください。

なるほど
え〜のう！
営農情報

水稲

斑点米カメムシ
(カスミカメムシ類など)

水田周辺の雑草地に生えたイネ科雑草に生息しており、水稲の出穂とともに水田内に侵入します。

○被害

主に子実粒の頂部および側部を加害し、斑点米を発生させます。

○対策

水田への侵入を減らすことを目的として、水田畦畔や周辺の雑草地の草刈りを徹底します。ただし、出穂期以降の草刈りはカメムシを水田内に追い込むことになるので、出穂10日前までには草刈りを終えておきましょう。

また、出穂前後の基



アカスジカスミカメムシ

本防除を徹底し、多発時は追加防除を行ないましょう。

イネカメムシ

早生品種では走り穂が出ると本田への侵入が始まります。早生品種で発生した次世代成虫は、中生品種に移動し水稲を加害します。ただし、本虫の生態については不明な点が多く、実態は分かっています。

○被害

他の斑点米カメムシ類と違い、主に子実粒の基部（胚芽付近）を加害します。

被害が甚大な場合、大規模で不稔となり成熟期を迎えても傾穂しない様子が見られます。

○対策

出穂期とその10日後までの間に2回の防除を行ないます。2回防除後も発生が見られる場合、3回目の追加防除を行ないましょう。



イネカメムシ

水稲に関する情報をお届けします！

LINE

メール配信サービス

落葉果樹

8月は高温乾燥で推移する傾向にあります。雨が少ない場合は高温乾燥対策を徹底します。また、暑い中での農作業のため体調管理には十分注意し、こまめに水分補給し熱中症にならないように注意しましょう。

干ばつ対策

雨が少ない場合の対策として、水分競合や蒸散による水分消費をできるだけ少なくするため、園内の雑草は刈り取り敷き草とします。また、数ワラや堆肥の施用でも可能です。灌水施設のある園地は、灌水を早朝か夕方の気温の低い時間帯に行ないます。水量が十分でない場合は根の多い部分に、灌水器などを利用して集中的に局部灌水を行ないます。

収穫・選別作業について

モモは品種によって先月から収穫が開始されていますが、今月からブドウやイチジクなどの収穫が開始されます。収穫については、品目や品種ごとの着色や糖度など品質状況を確認し開始します。ただし、近年の異常高温により果実内容が仕上がっているにも関わらず、着色が鈍いため過熟になる場合もあるので注意が必要です。また、収穫後の棚持ちや品質を維持するため、果実温の低い早朝に収穫します。選別などの作業をする際も、果実温の上がりにくい



▲イチジクの蓬莱柿は、果実果頂部の裂果がみられ柔らかくなったのを目安に収穫します。

涼しいところで選別しましょう。収穫や選別の際は、果実を丁寧に扱きましょう。

枝管理（枝抜き、副梢の管理）

引き続き、発生状況を確認しながら、込み合っているところの枝の間引きや、副梢の管理（摘心や除去）を行ないます。

注意する主な病害虫

カキ…炭疽病、うどんこ病、カキノヘタムシガ、カメムシ類、等

※農薬散布する際は、必ずラベルを確認し記載されている登録内容を確認して行なってください。また、農薬散布の際は農薬飛散（ドリフト）に注意しながら実施します。

柑橘

連日の暑さで夏バテぎみの方も多はいはず。こう暑くなると柑橘も夏バテしてしまいがちですが、する樹としない樹に分かれます。現在、樹では葉で養分を作りそれを果実が消費しながら肥大しています。着果量が多いと果実の養分消費が多すぎるため樹は衰弱し果実は肥大停止します。暑さと着果負担での夏バテです。結果的に小玉になり来年の着果が少なくなります。対策としては適正な葉果比を見極めて摘果を進めることです。

表1：温州みかんの摘果方法

品 種	実施時期	方 法
極早生	8月上旬	内なり、裾なりを中心に摘果する。摘果必要量の20～30%
早生・いしじ	8月中旬	

注意：本年は早生中心に着果過多樹が多くあります。そのような樹は早めに葉果比25程度まで摘果しましょう。

表2：中晩柑の摘果方法

品種	残す果実	落とす果実	葉果比(枚)	8/1時点でL級になる果実の横径
ネーブル	5～6枚の総状有葉果の2番果	直花果、扁平果、へそ大果	80～100	40mm
八朔	5～8枚の単生有葉果	直花果、裾なり、腰高果	80～100	48mm
甘夏				50mm
しらぬひ	5枚以上の単生有葉果	へそ大果、扁平果、奇形果	100	38mm (2L級基準)
はるみ		直花果、内なり果、傷果	80	37mm
はるか		内なり果、裾なり、天なり合わせて果実周辺の芽を除去する。→トゲ傷対策。	70～90	36mm
レモン	縦長の果実	傷果、双子果 →年内出荷比率を高めるため。	30	34mm (年内M級基準)

家庭菜園

ブロッコリーの栽培

〈種まき・育苗〉

ポットまぎの場合、深さ1cm程度にお互いを離して3～4粒まき、種が隠れる程度に覆土をした後、たっぷりと灌水します。

発芽適温は25℃前後で、30度以上の高温が続くと発芽率が低下する為、発芽するまでは、寒冷紗などの被覆資材を用いて遮光を行ないましょう。

本葉が2枚になる頃間引きを行ない1本立ちにします。

育苗期間の灌水は基本的に朝行ないますが、日中土が乾きすぎている様であれば少量行なってください。（夕方多量の灌水をすると、徒長の原因の一つとなります）

〈畑の準備〉

定植1カ月前に堆肥と苦土石灰を施用し、深耕しましょう。基肥は定植10日前頃施用します。（やさい189であれば、1㎡辺り160g程度）
畝は1条植えの場合は60cm×70cm、2条植えなら120cm×130cmで高畝としましょう。

〈定植・追肥〉

苗の本葉4～5枚になったら、株間40cmで定植します。植付けは双葉を地表面に出して浅く植え、株元に水がたまらない様にやや山高にしましょう。（深植えにすると活着が遅れやすくな

ります）
追肥は定植2週間ごとに2回行ないますが、肥料のやりすぎにならない様注意しましょう。

ブロッコリーの茎に穴が開く症状



茎に穴があいているのは「花茎空洞症」といわれる症状です。ブロッコリーが急激に生長すると、茎の生長が追い付かなくなり、穴が開いてしまうものです。収穫の遅れや肥料のやりすぎで発生しやすくなるので、適期収穫や適性施肥を心がけましょう。





Information お知らせ

「尾道市農地バンク制度」が始まりました

尾道市農業委員会では、農地の所有者が耕作や管理ができなくなった農地を尾道市農業委員会が窓口となって、農地を利用したい農業者へ紹介する制度を開始しました。

「尾道市農地バンク制度」は、農地を貸したい、売りたい農地所有者と農地を借りたい、買いたい農地利用希望者をマッチングする事業です。

詳しくは、尾道市農業委員会事務局までお問い合わせください。

お問い合わせ先 尾道市農業委員会事務局
Tel0848-38-9491
及び各支所まち・しまおこし課

地元中学生職場体験

竹原市立賀茂川中学校2年生は、6月5日（月）から5日間、荘野支店などで職場体験を行ないました。子どもたちが働くことの喜びや厳しさを学び、学習に対する意欲を向上させるための取り組みです。チラシのはせこみや、ジャガイモの品質確認用サンプル採取の見学、水稻苗運搬棚の解体などを体験しました。



▲参加した井山翔太さん

かがやき通信 女性部活動

6/21 産直市巡り

「合併記念 いもな産直市ツアー」を開催し、陳列方法や品揃えなどを視察しました。やさふれあい市場等に反映し、より良い産直市を目指します。



6/22 【幸崎支部】 光年部活動

料理教室を開き、「家の光」掲載の「ほめられ黒酢」や「簡単和風だし 旨！だしパック」を使用した料理を作りました。



6/26 【東部ブロック】 女性セミナー

中之町支部と八幡支部が合同で「ゴキブリ団子」を作りました！



はなみずきの会 ニュース

6/5 第26回助けあい組織 はなみずきの会総会 開催

令和4年度の活動報告や決算報告、令和5年度の活動計画、予算案や役員改選について承認されました。



▲挨拶をする味木寿美恵会長

6/27 心身機能活性療法指導士研修会

認知症の予防と改善を目的として、ゲーグルソフトやフィンガースポーツ、フラハンドなどを行ないました。



▲フィンガースポーツをする心身機能活性療法指導士

9月 お知らせカレンダー

※予定が変更する場合があります。
ご了承ください。

【アグリセンターの休日】

三原 三原西 本郷 久井 鷺浦 せとだ 竹原

【年金相談会 開催時間】

10:00～16:00

【営業時間】

11月～3月 8:30～17:00
4月～10月 8:30～17:30
(せとだ 8:30～18:00)

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
		三原					年金相談会		三原					年金相談会		三原	三原					三原	三原						棚卸
		三原西							三原西							三原西	三原西					三原西	三原西						三原
		本郷							本郷							本郷	本郷					本郷	本郷						三原西
		久井							久井							久井	鷺浦					せとだ	久井						本郷
		鷺浦							鷺浦							鷺浦	せとだ					竹原	鷺浦						久井
		せとだ							せとだ							せとだ	竹原					竹原	せとだ						鷺浦
		竹原							竹原							竹原						竹原	竹原						せとだ
																													竹原